

## 第1回ごじゃっぺ検定 解説

### 1) 次の茨城弁を標準語に訳せ (1問5点 計20点)

#### 1. おっこどしてわっかいちったんだちけ

答え：落として割ってしまったんだって

解説：おっこどす＝落とす。わっかく＝割れる＋欠ける。「～だちけ」は「～だって」などのように伝聞の意味になる。

#### 2. てれんこてれんこやってねーで、とっとどおわしっちえよ

答え：だらだらやってないで、とっとと終わらせちゃいなよ

解説：てれんこてれんこ＝だらだら、でれでれ…のようにしっかりやっていない様子をあらわす擬音語。おわしっちえよ＝終わらせちゃいなよ

#### 3. あらいまですっから茶碗冷やしといでくる

答え：食事の後片付けをするから茶碗を水に浸しておいてちょうだい

解説：あらいまで＝洗う＋まてる(片づける)なので、「食事の後片付け」となる。「冷やす」は温度を下げる意味はなく、水に浸す、漬けるという意味になる。

#### 4. うっちゃりぼっけじゃ、てーげなぐしっちやが

答え：置きっ放しじゃ、大概なくしちゃうから

解説：うっちゃりぼっけ＝置きっ放し。「うっちゃる」は「打つ遣る／打つ棄る」で、投げ捨てる意味と放っておく、置きっ放しにする意味があるが、今回は後者の意味である。

### 2) 次の茨城弁の意味を線で結べ (各4点 計24点)

あ) びだまる→ C) 病気で動けなくなる

い) びだげる→ F) あまえる

う) ぶどげる→ A) ふやける、のびる

- え) ふったげる→ E) 火をつける  
お) ぶったまげる→ D) びっくりする  
か) ぶんまげる→ B) まき散らす

※エリアや世代によってはなかなか耳にすることがなかったり、言い回しが多少異なる場合があるので、県内全域の方言を広く知っておく必要がある。

3) ( )に漢字2文字を入れて茨城県内のスポーツチーム名を完成させよ(各5点 計15点)

- ( 鹿島 ) アントラーズ  
( 茨城 ) ロボッツ  
( 日立 ) リヴァーレ

4) 県西地区を中心に食べられている郷土料理「すみつかれ(しもつかれ、すみつかり、しみつかれ)」に使われる様々な具材の中から4つ答えよ。調味料を除く(4つ正解で6点)

答え: 大根、人参、大豆、油揚げ、酒粕、シャケの頭、シャケの切り身…などから4つ

5) 939年、平将門は常陸国の国府を占領し、一時関東を支配下において新皇を称したが、このとき常陸国の国府は現在の何市にあったか。(5点)

答え: ( 石岡 ) 市

※当時は常陸府中と呼ばれていた

6) 茨城県はそばの産地としても知られているが、1978年に茨城県農業試験場(現在の茨城県農業総合センター)によって作られた蕎麦の品種を答えよ。(5点)

答え: ( 常陸秋 ) そば

※在来種の名で最も形質の優れた常陸太田市赤土町（旧金砂郷町）の種を親に選抜育成法によって作られた

7) 「坂東太郎」の説明として間違っているものを一つ選べ（5点）

- A.茨城県坂東市に本社がある和風ファミリーレストラン
- B.利根川の異名
- C.常陸国の戦国大名だった佐竹義重の異名

答え：（ A ）

※株式会社坂東太郎（店名：ばんどう太郎）の本社は古河市である。坂東市に本社がある和風ファミリーレストランは「すぎのや」。

8) 山祝い、山あげ、山げーし（山返し）、山あらい、砂はたき、砂はらい（砂っばらい）、笠脱ぎ・・・これらは何を意味する言葉か（5点）

答え：（ 慰労会、打ち上げ…など ）

※地域によって言い方が異なるが、県内では上記のいずれかの言い方をするケースが多い。

9) 雨の日などに泥が跳ね上がることを茨城ではなんというか（5点）

答え：（ しっぱね ） 上がる

10) 「そのへんにぶん投げといて」と言った場合、標準語と茨城弁ではどのようなニュアンスの違いがあるか簡潔に説明せよ（10点）

答え：（ 標準語は「(勢いよく) 投げる」という意味合いが強いが、茨城では「投げる」意味はなく、おもに「置いておく」という意味で使用し、「置きっ放しにする」ニュアンスが含まれる。 ）